

# 戸田市立戸田東小学校教育課程特例校の取組 について

## 1 特別の教育課程を編成する目的

小中一貫教育の柱として教科「東雲（しのめ）」を新設する。「東雲」では、小中9年間を通して「グローバル社会でたくましく生き抜き、活躍できる児童の育成」を目標として、OECDの示すエージェンシー（自分で考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく姿勢・意欲）を踏まえた3つの資質・能力「課題発見力」「論理的思考力」「解決実行力」を育むことを目的とする。

## 2 教育課程特例校としての取組の概要

本校ではこれまで3年間にわたり、実社会や実生活から課題を見だし、問題を解決する探究的な学び「PBL」に取り組んできた。そこに教科横断的な視点や学びの過程において最新のテクノロジーを活用することを一層強化しながら、個別最適な学びと協働的な学びを両輪に、児童が新たな価値を創造するSTEAM学習の実現を目指し取組を進める。

国語（3～6学年）では、全学年で学習者用デジタル教科書を導入し活用している。また、一人一台端末で家庭への持ち帰りも可能である。そのため、教材の個々の読み取りや要旨のまとめ等個々の学びは家庭で進め、それをもとに学級で対話的に学びをし、学びを深めるといった反転学習を実現している。さらに、AIドリル等を積極的に活用し、漢字や語句の習得についても、端末を活用した家庭学習を活用することで、授業時数を削減・調整する。

道徳（3～6学年）では、道徳に位置づけられている情報モラル教育を、新教科「東雲」に位置づける。具体的には、情報整理・分析活動やICTをコミュニケーションツールとして活用した活動の際に扱い、体験から学ぶといった、より道徳的実践意欲向上と態度育成の観点で進める。

特別活動（3～6学年）では、本市で特別活動 学級活動（3）に位置づけている戸田市独自の「セサミストリートカリキュラム」を「東雲」カリキュラムの中に位置づける。

算数（3,4学年）では、算数科目目標（2）に示される「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」と（3）「算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度」の観点でカリキュラム・マネジメントをする。具体的には、デジタルデータの活用に関連する内容を新教科「東雲」に位置づける。

社会（3,4学年）では、社会科の内容（1）における、身近な地域や市区町村の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を「東雲」カリキュラムに位置づける。

生活：生活科目目標（3）「身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う」は、新教科「東雲」が目指す目標に含まれるため、生活科のカリキュラムのうち、PBL型の学びにあたる内容部分を東雲カリキュラムとして策定する。

総合：総合的な学習の時間の目標は、新教科「東雲」にて実現できるものである。

## 3 地域や学校の特色を活かして、特別の教育課程を編成して行う教育活動

戸田市では、産官学民の連携により新しい学びを積極的に創造している。また、本校は施設一体型の小中一貫校として令和3年4月に開校し、最先端のICT環境を整えている。さらに、インテル、リコー、アドビとの共同研究により校舎内にSTEAM LABが開室された。最新鋭のPC、3Dプリンター、アドビ クリエイティブ クラウド等が整備され、テクノロジーを生かした探究型の学びを実現できることができる。本校はこれまでもPBLの学びの研究を進めてきたが、これらのテクノロジーを活用することで、PBLをさらに充実し、STEAMの視点を入れた探究の学びを進めることができると確信している。本校の学習環境の特色を最大に生かした小中9年間を通した系統性をもったカリキュラムを通して、21世紀に逞しく生き抜く児童を育てる教育活動を展開していく。

#### 4 教育課程特例校の活用した戸田東小学校授業時数

学年		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	
合計	変更後の時数	850	910	980	1015	1015	1015	
	標準時数	(850)	(910)	(980)	(1015)	(1015)	(1015)	
	増減	0	0	0	0	0	0	
各教科の授業時数	国語	変更後の時数	306	315	230	230	165	165
		標準時数	(306)	(315)	(245)	(245)	(175)	(175)
		増減	0	0	-15	-15	10	10
	社会	変更後の時数	-	-	65	85	100	105
		標準時数	-	-	(70)	(90)	(100)	(105)
		増減	-	-	-5	-5	0	0
	算数	変更後の時数	136	175	170	170	175	175
		標準時数	(136)	(175)	(175)	(175)	(175)	(175)
		増減	0	0	-5	-5	0	0
	理科	変更後の時数	-	-	90	105	105	105
標準時数		-	-	(90)	(105)	(105)	(105)	
増減		-	-	0	0	0	0	
生活	変更後の時数	68	70	-	-	-	-	
	標準時数	(102)	(105)	-	-	-	-	
	増減	-34	-35	-	-	-	-	
音楽	変更後の時数	68	70	60	60	50	50	
	標準時数	(68)	(70)	(60)	(60)	(50)	(50)	
	増減	0	0	0	0	0	0	
図画 工作	変更後の時数	68	70	60	60	50	50	
	標準時数	(68)	(70)	(60)	(60)	(50)	(50)	
	増減	0	0	0	0	0	0	
家庭	変更後の時数	-	-	-	-	60	55	
	標準時数	-	-	-	-	(60)	(55)	
	増減	-	-	-	-	0	0	
体育	変更後の時数	102	105	105	105	90	90	
	標準時数	(102)	(105)	(105)	(105)	(90)	(90)	
	増減	0	0	0	0	0	0	
外国 語	変更後の時数	-	-	-	-	70	70	
	標準時数	-	-	-	-	(70)	(70)	
	増減	-	-	-	-	0	0	
特別の教科 である道徳 の授業時数	変更後の時数	34	35	30	30	30	30	
	標準時数	(34)	(35)	(35)	(35)	(35)	(35)	
	増減	0	0	-5	-5	-5	-5	
外国語活 動の授業 時数	変更後の時数	-	-	70	70	-	-	
	標準時数	-	-	(35)	(35)	-	-	
	増減	-	-	+35	+35	-	-	
総合的な学 習の時間 の授業時数	変更後の時数	-	-	0	0	0	0	
	標準時数	-	-	(70)	(70)	(70)	(70)	
	増減	-	-	-70	-70	-70	-70	
特別活動 の授業時 数	変更後の時数	34	35	35	35	35	35	
	標準時数	(34)	(35)	(35)	(35)	(35)	(35)	
	増減	0	0	0	0	0	0	
<b>しのめ</b>		34	35	70	70	90	90	